

成長できる場所がある

——男子学生寮・和敬塾

公益財団法人 和敬塾

専務理事 佐藤一義さん



和敬塾は文京区目白台の閑静な住宅地にある。60年以上の歴史をもち、巣立ったOBは5千人を超える。和敬塾が目指すものとは。佐藤一義専務理事に聞いた。

緑に囲まれた敷地内に立つ和敬塾創立者・前川喜作氏の銅像

共同生活を通して人間形成を

—— 創立の経緯について教えてください。



佐藤一義さん

1955(昭和30)年、前川製作所の創業者・前川喜作によって設立されました。戦後、荒廃した国土を目の当たりにし、日本の将来を担う若者には「教育」が何より大事だとの思いから、

事業に30年間携わった後の30年間を陣頭指揮で学生の教育に身を捧げました。

—— 和敬塾という名前の由来は？

聖徳太子の十七条憲法から来ています。「和」は「和をもって貴しと為す」(第1条)、「敬」は「^{あつ}篤く三宝(仏法僧)を敬え」(第2条)。和と敬の心を体して、広い視野をもち、寛容で思いやりのある人間を目指しています。また、和敬「寮」ではなく「塾」としたのは、共同生活を通じて多様な価値観を受け入れることで各自が自己を磨く修練の場にしたかったとの思いによるものです。

—— 塾生はどこからどのように。

日本全国から約300人、留学生も50人ほどいます。大学からの紹介やネットで知ったという人たちももちろんいますが、多くは現役の塾生である高校の先輩に誘われて、あるいは塾のOBであるお父さんや親せきにすすめられて。中にはおじいさん、お父さんに続いて3代目という学生もい

ます。口コミの力が大きいですね。

—— 塾生活を送って良かったと実感している。

共同生活に最初は戸惑うこともあるようですが、誰もが先輩・後輩を含め生涯付き合える友達ができた。多様な交流を通じた体験は貴重なもので、一生の宝と言っていいのではないのでしょうか。

行事・教養活動への積極参加

—— どの塾生も、私たちのような外部からの訪問者に対しても、すれ違うと礼儀正しく元気にあいさつをしてくれるのがとても印象的です。

決して私たち塾職員や寮長、寮母さんが口をすっぱくして「やれ」と言っているのではありませんよ(笑)。

確かに、挨拶の励行を大切にしていますが、先輩から後輩へと伝統として根付いているものです。

—— 行事や教養活動が盛んだと聞きました。

入塾式はじめ主要行事では、併せて政治・経済から芸術・スポーツまで、各界から有識者を講師に招いて講演会を行っています。創立者が講演会を非常に重視していて、最初の頃はほぼ毎月のように実施していました。「現役塾生の時は、話の中身とか講師のこととかよく分からなかったけど、社会人になって初めてすごいことだったのだと気付いた」。そんなOBが大勢います。

5月に行われる創立記念塾祭では、それぞれの寮の3年生が自作の劇を演じます。相当な準備が